

令和4年度 百合丘高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令順守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令順守意識を高め、公務外非行や交通事故を起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・公務外非行の報道、教育委員会からの通知等について、速やかに職員に周知し、法令順守の徹底を図った。 ・保護者や地域の方々へのアカウントビリティを果たせるよう、教育公務員としての使命を自覚し、責任ある行動を心掛けた。
② 職場のハラスメントの防止	職員の人権を尊重し、ハラスメントを起こさない職場づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者による教員研修の一環として職場における課題発見を通じた教職員の意識の向上を図った。 ・資料による研修により、様々なハラスメントについて理解を深め、防止に対する意識が向上できた。
③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ・ハラスメントを絶対起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を傷つけ、生徒・保護者、県民の信頼を失う行為であることを深く認識して、SNS利用の禁止、教科準備室の整理等を徹底した。
④ 体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を絶対起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する適切な指導、必要な支援を意識し、体罰・不適切指導を防止できた。 ・生徒一人ひとりの課題等を教職員で共有することで、生徒のニーズに合った指導が徹底できた。
⑤ 入学者選抜業務の正確な執行	生徒の人生を狂わしかねない入選業務での不祥事を起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直し、事前の研修会の開催等を通じて、業務全般についての理解を深めて適切な業務を行えた。 ・追検査の実施方法については更に精査していく。
⑥ 定期試験、成績処理業務、進路関係資料作成に係る事故防止	点検体制、スケジュール管理の徹底等により、不祥事を起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール管理を徹底し、複数の目で点検を繰り返すことで事故防止に繋げることができた。 ・推薦会議で大学側の条件を丁寧に読み込みながら推薦者を決定することができた。
⑦ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩等を起こすことのない職場づくりを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策をきちんと行うことで、個人情報の管理を適切に行うことができた。 ・生徒に対して自分の個人情報の扱い方を指導することで、不必要な個人情報の流出を防止できた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

入学者選抜業務については毎年変更点があることから、早くからマニュアル作成に取り組む、教職員全体で共有する研修を複数回実施することで、意識が高まり、確実な業務を遂行できた。

わいせつ・セクハラ、体罰・不適切行為について、初任者研修の一環として課題発見を行い、教育公務員に求められる高い倫理性を自覚することができた。

次年度以降、生徒・保護者、地域の方々から信頼される、事故のない安全・安心な学校づくりを推進し、不祥事防止の徹底に向けた取組を行う。